

東京2020大会コミュニティライブサイトの実施案について

1 主旨

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、東京2020大会は概ね1年延期となった。これに伴い、東京2020大会コミュニティライブサイトについて、今年度の実施を中止し、来年度に向けて調整を行うこととした。

この度、新型コロナウイルス感染症対策等の観点から実施会場、日数及び内容を見直し、安全・安心な東京2020大会コミュニティライブサイトの開催に向けて実施案をまとめたので報告する。

2 実施目的

東京2020大会期間中、区内における賑わいの創出できる場所において、競技中継を通じ、区民が一体となって大会の感動と興奮を共有し、その雰囲気を経験できる場を提供する。

3 実施概要

- (1) 日 程 令和3年7月31日(土)、8月1日(日)(オリンピック)
8月28日(土)、29日(日)(パラリンピック)
- (2) 会 場 iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ
世田谷区玉川1-14-1
床面積 約440㎡(ホール部分)、有効天井高 7.5m
250インチスクリーン
- (3) 内 容 競技中継、会場装飾、ステージイベント
- (4) 経 費 11,744千円

4 実施にあたっての基本的な考え方

新型コロナウイルス感染症対策、コスト及び実施会場の状況等を踏まえ、以下の考え方で実施する。

- (1) 新型コロナウイルス感染症におけるリスクを低減するため、区内1か所での実施とする。
- (2) 感染症対策を徹底するため、会場内外が区画できる形態とし、3密回避と体温測定、手指消毒等の来場者管理が確実にできる場所とする。
- (3) 感染症対策、熱中症対策、雨天対策、災害対策、アンブッシュ対策、大型ビジョンやテントの設置費用等を総合的に勘案する。

5 新型コロナウイルス感染症対策

組織委員会策定の「ライブサイト実施における新型コロナウイルス感染症対策の指針」における以下の対策を踏まえ実施する。

(1) 基本的な対策

- ① 3密（密閉・密集・密接）の回避
- ② 飛沫感染・接触感染防止
- ③ 殺菌・消毒の徹底
- ④ 体調管理・確認の徹底
- ⑤ 広報・周知の徹底
- ⑥ 陽性者・体調不良者発生時等の対応計画の作成

(2) 実施コンテンツにおける対策

- ① ステージイベント参加者の体調管理・確認の徹底
- ② ステージ上のパフォーマーと観客の密集を回避するための会場レイアウト
- ③ MC及びパフォーマー待機時のマスク着用、イベント実施時の感染症対策

6 今後のスケジュール（予定）

令和3年	2月下旬	組織委員会に実施計画書の提出
	3月下旬	実施計画書の承認
	4月～5月	組織委員会による実施会場の公表
	6月～7月	組織委員会に運営計画書の提出
	7月～8月	東京2020大会コミュニティライブサイト実施